

皮膚科医師の紹介



飯岡敦子医師

4月1日より宇陀市立病院に着任いたしました。これまでは奈良県立医科大学附属病院皮膚科で勤務しておりました。今後、湿疹・皮膚炎をはじめ皮膚科一般診察を通じて地域医療に貢献していきたいと考えております。皮膚に関するトラブルやお悩みなどがございましたらお気軽にご相談ください。

(皮膚科医師 飯岡)

皮膚科外来診察のご案内

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	第1・3・5 土曜日
飯岡	白井 <small>しらい</small>	飯岡	飯岡	飯岡	飯岡

◎皮膚科の学童外来受付は、毎週水曜日の午後3時～4時です。

初診外来を行っています



従来、内科初診の方には、待ち時間についてご迷惑をおかけしておりましたが、診察をスムーズに行うため、内科の初診外来を行っています。

宇陀市立病院循環器科新設のご案内

市立病院内科は日本循環器学会から循環器専門医研修施設に認定されています。同学会から認定された循環器専門医である林、矢崎、伊藤の3名が在籍し、奈良医大循環器内科と連携して高血圧、狭心症、心筋梗塞、心臓弁膜症、不整脈などの循環器疾患の診断と治療に力を注いでいます。

さて、今年の循環器学会から話題の一つお届けします。メタボリック症候群：最近この言葉を聞かれた方は多数おられるでしょう。肥満（腹囲が男は85cm、女は90cmより大）があると、次の①②③のうち2項目以上該当するときこの症候群であると診断されます。

- ①高血圧（130/85以上）
- ②脂質異常（中性脂肪150以上、またはHDL - コレステロール40未満）
- ③高血糖（空腹時血糖値110以上）

この症候群が注目されているのはなぜでしょうか。それは、メタボリック症候群になると、心筋梗塞や脳卒中など死につながる病気になりやすいからです。肥満は単なる太り過ぎでなく、この症候群の基礎疾患として捉えられるようになってきたのです。高血圧の方は、薬を飲んでただ血圧を下げるだけで安心してはいけません。肥満を合併する方は、食生活・運動など生活習慣を見直して肥満を解消しないと心血管死の十分な予防にならないのです。

また、脂質異常がないか、糖尿病がないかチェックして必要ならその治療を受けることが大切です。

なお、当科で実施している循環器検査・治療は次のとおりです。動悸、息切れ、めまいのある方、運動して良いかどうか不安な方は、ぜひ受診してください。

●心臓超音波（エコー）検査

3次元立体画像表示可能な最新鋭装置を設置しています。心筋肥厚・心拡大の有無、心弁膜症、心収縮能拡張能の評価。

●経食道心臓超音波検査

脳塞栓の原因となる心内血栓の検出。

●頸動脈エコー検査：頸動脈の硬化度を測定。

●脳CT、脳MRI、MRA検査

脳梗塞、脳出血、脳腫瘍、脳動脈瘤の検査。

●脈管エコー検査

下肢動脈の狭窄（閉塞性動脈硬化症）、下肢静脈の閉塞（深部静脈血栓症）の診断。

●脈波伝播速度（PWV）

大動脈瘤の硬化度と閉塞性動脈硬化症の診断。

●冠動脈マルチスライス（16列）CT検査

狭心症や心筋梗塞の診断。

●トレッドミルテスト

狭心症の診断、運動耐容能・許容量の評価。

●ホルター心電図

不整脈の検査。心電図記録紙（小箱）を装着したら、帰宅可です。仕事にも行けます。翌日取り外しに来院してください。

●ペースメーカー植え込み術

完全房室ブロックなど意識消失や心不全をきたす除脈には施術しています。

●（予定）心臓カテーテル検査治療

今秋には、アンギオ装置を予定していますので冠動脈造影検査・風船治療・ステント治療が可能になる見込みです。

詳細については、後日、広報うだでお知らせします。